

1. Report No. UMTRI-2015-28	2. Government Accession No.	3. Recipient's Catalog No.	
4. Title and Subtitle 米国各州における衝突事故の死亡率： 主要な死亡原因との比較。		5. Report Date October 2015	6. Performing Organization Code 383818
		8. Performing Organization Report No. UMTRI-2015-28	
7. Author(s) Michael Sivak and Brandon Schoettle		10. Work Unit no. (TRAIS)	
9. Performing Organization Name and Address The University of Michigan Transportation Research Institute 2901 Baxter Road Ann Arbor, Michigan 48109-2150 U.S.A.		11. Contract or Grant No.	
		13. Type of Report and Period Covered	
12. Sponsoring Agency Name and Address The University of Michigan Sustainable Worldwide Transportation http://www.umich.edu/~umtriswt		14. Sponsoring Agency Code	
		15. Supplementary Notes	
16. Abstract <p>この研究では、米国の州ごとに算出した人口に対する衝突事故の死者数と 5 つの主要な死因（心臓病、ガン、肺疾患、脳卒中およびアルツハイマー病）およびすべての死因での死者数を比較した。データ（2013 年）は、CDC（アメリカ疾病管理予防センター）と NHTSA（全米高速道路交通安全委員会）から入手した。</p> <p>主要な結果を以下に示す。：</p> <p>(1) アメリカ合衆国では、人口 100,000 人につき、心臓病の 193.3、ガンの 185.0、肺疾患の 47.2、脳卒中の 40.8、アルツハイマー病の 26.8 と比較して、衝突事故による死者が 10.4 であった。衝突事故での死亡率が最も高いのは、モンタナ（22.6）で、最も低いのはコロンビア特別区（3.1）だった。</p> <p>(2) アメリカ合衆国では、衝突事故の死者数は、すべての事故死者数の 1.3% である。比率が最も高いのはモンタナ（2.4%）で、最も低いのはコロンビア特別区（0.4%）だった。</p> <p>(3) アメリカ合衆国では、衝突事故による死者は、心臓病による死者の 5.4%、ガンによる死者の 5.6%、肺疾患による死者の 21.9%、脳卒中による死者の 25.4%、アルツハイマー病による死者の 38.6% に相当する。</p> <p>(4) 他の事故死者数に対する衝突事故死者数の比率は、州の間で大きく異なった。たとえば、アルツハイマー病による死者数と衝突事故による死者数の比は、ニューメキシコ州の 91.4% からワシントン州の 13.3% にわたった。</p>			
17. Key Words 交通事故、公衆衛生の観点、主な死亡原因、癌、心臓病、肺疾患、脳卒中、アルツハイマー病		18. Distribution Statement Unlimited	
19. Security Classification (of this report) None	20. Security Classification (of this page) None	21. No. of Pages 38	22. Price